

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ばすてる		令和8年 3月 9日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		プログラムにより空間をパーティションで分けている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	急な時に職員数が足りないと感じる	嘔吐や感染症かもと、支援者間で連携取れるようにしている
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		スペースは分けられている。同じ空間の中でも活動により分けていて、利用者も理解して活動している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃している。遊ぶ空間等のすみわけが出来ている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		職員会議等を行っている。職員間で参画している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		面談や交流会の機会を作っている。会議等で内容を話し合っている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員の意見を聞いてから違う視点からの支援や改善をしている。支援中にノートの確認が出来よう改善している	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	必要があれば検討していこうと思う	必要があれば実施していく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修案内を回覧している。初心の気持ちを忘れないようマニュアルの確認などを行っている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		半年のモニタリング以外に定期的に見直し評価の時期を早めることもしている。作成し、公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		本人や保護者の移行も踏まえ作成している。ニーズに合わせた計画を作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		ミーティングなどで共通理解のもとで検討している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援前に確認できるようにしてある。周知後確認出来るよう最新の計画をすぐ見れるようにしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		状況に応じて確認している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		全項目において網羅出来る計画を作成している。発達段階や成長につながる設定をしている	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		活動前に職員配置等も考え行っている。立案を予め確認し、アドバイス等しながら行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		外出、工作等プランが固定化しないようにしている。学校が短縮授業で早い時や長期休暇時は制作や外出の機会を提供している	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別は作業、集団はおやつ作りで支援している。将来に向けた個別活動と集団活動を組み合わせている	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		活動前に職員配置等も考え行っている10~20分毎日している。打ち合わせを行う中で気になったこと等話し合っている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	帰る前に振り返りをしたり次の日の支援前にする場合もある。当日中は難しい。当日の連絡や後日振り返りをしている	電話連絡等で振り返るようにしていく

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		記録のマニュアルなどを参照し、定期的に周知を図っている。当日記録できなかった内容については次の日に記録をとっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		目標の達成時期を早めたり目標を下げたりすることを必要に応じて行っている。1.3.6か月で細かくモニタリングをとっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		子どもから意思表示が出来るよう努めている（他の表現方法も含む）時にはおやつ作りで選択する機会をつくったり様々な場面で自己決定の機会をつくっている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者が現場を見て様子を理解している。主に児童発達支援管理責任者が参加しているが指導員等も参加できるときはしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		つながりを意識して統一した支援を行っている。気になっている利用者様の言動について医療や心理士などの関係機関と連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		決められた時間でスケジュール管理している。その都度適切に連絡している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		契約時に行っている。担当者会議などで情報共有を努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		相談員含め情報を提供している	
	関係機関や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	研修を定期的に受けられるよう職員にも伝えられている。更新研修を受け学んだ
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	長期休暇の活動内容に取り入れている。地域の子どもの交流はなかったが、障害を持つ大人との交流の機会はもてた	少人数から児童クラブの参加をしていく
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		役員として積極的に参加している	
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の申し送りだけでなく必要に応じて面談も行っている。送迎時等で情報交換しながら共通理解に努めている	
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		家庭で出来ることは実践するように伝えている。ノート等で困りごとの相談についてアドバイスしている	
36		運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時や質問があれば説明している	
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談等で設けている	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		変更のたびに説明している。同意を得ている	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		面談などして助言している。適宜、面談や電話での相談に応じている	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8		意見交換の場を作っている。兄弟も参加で親睦会を開催し、保護者間、支援者間の交流を行った	
保護者への説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		予め説明している。苦情があれば迅速に対応したいと思う	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	5	ノートなどで知らせている。ホームページは更新が出来てないので写真を変えたりしていきたい	ホームページの更新をしていけるようにする
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		配布書類等気にかけている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		ジェスチャーや絵カードを使っている。視覚的配慮をするなどしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	設立年数などでタイミングを見て図っていきたい	地域の懇談会に参加したり、近隣の方に挨拶を交わしている

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		職員会議などで訓練している。会議等で周知し、訓練している。家族への周知や発信は記録に残しているが、周知の仕方は考える必要がある。(説明会で知らせていくなど)	説明会や懇親会で周知する機会をつくる
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的な訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		支援者間でも確認しあっている。アセスメントをとりながら情報共有している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		薬の場所の周知やアレルギー体質等の配慮をしている。意思の指示書に基づくところは家族から聞き取っている	アレルギーでない利用者にも体調等により配慮している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全管理に努めて支援している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		家族等への周知を徹底してないが、説明会等で今後知らせていこうと思う	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリとしたことはすぐに記入し回覧して検討している。繰り返しヒヤリとすることがないよう改善されてるか確認している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		職員会議で話し合っている。研修や講義などしながら適切な対応をしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		職員会議と支援前に話し合っている。十分に説明し、計画に記載している		